

2025年度マテリアリティ・KPI・実績

マテリアリティ	主な取り組み	指標	2026年度までの目標	2024年度実績	2025年度実績
事業活動のマテリアリティ					
新たな事業への継続的な挑戦	・従業員による新規事業の事業創出 ・スタートアップのエコシステム活性化と事業成長に貢献	①新規AIプロダクトの企画数・リリース数 ②スタートアップ・ファンドへの出資金・起案数	①- ②-	①- ②-	①- ②-
健全なサービス・コミュニティの運営	■ゲーム ・法令やガイドライン等に準拠した社内開発ルールの策定・運用 ・不正行為対策としての実装、巡回、警告・削除基準の策定・運用 ■ライブストーリーミングサービス ・未成年保護等サービス健全性維持 ・システム障害を含めた各種インシデントの最小化 ・問い合わせ対応に関するユーザー満足度の向上 ■Mobage プラットフォーム ・未成年保護等サービス健全性維持 ・24時間365日モニタリングによる健全性の担保 ・ルール違反ユーザ、不適切な書き込み等への対応	■ゲーム ①開発ルールへの準拠率 ②社内運用ガイドラインの準拠率 ■ライブストーリーミングサービス ①サポート対応満足度 ■Mobage プラットフォーム ①24時間365日体制モニタリング稼働率 ②通報対応率	■ゲーム ①100% ②100% ■ライブストーリーミングサービス ①- ■Mobage プラットフォーム ①100% ②100%	■ゲーム ①100% ②100% ■ライブストーリーミングサービス ①58% ■Mobage プラットフォーム ①100% ②100%	■ゲーム ①100% ②100% ■ライブストーリーミングサービス ①56.9% ■Mobage プラットフォーム ①100% ②100%
地域の賑わいの創出と活性化	■横浜 ・イベント等による関内エリアへの集客 ・野球振興活動を通じた地域貢献 ■川崎 ・SDGsイベントの開催 ■相模原 ・社会課題解決への取り組み「ジモタイプロジェクト」の推進	■横浜 ①観客動員数 ②周辺エリア主催イベント来場者数 ③幼保小訪問数と参加人数 ■川崎 ①SDGsプロジェクトの実行数 ■相模原 ①地域活動実施数 ②地域活動におけるリーチ者数	■横浜 ①- ②- ③- ■川崎 ①- ■相模原 ①- ②-	■横浜 ①2,334,177人※1 ②50万人 ③120園88校のべ約18,000人 ■川崎 ①累計80件 ■相模原 ①165回 ②92,044人	■横浜 ①2,339,200人 ※昨年対比1試合減 ②60万人 ③106園95校のべ約24,000人 ■川崎 ①累計約100件 ■相模原 ①170回 ②94,685人
健康な未来へのITを活用した貢献	■ヘルスケア ・PHR※2をはじめとする健康増進サービスの導入、普及による健康増進サポート ・保険者を通じた被保険者・地域住民の健康増進・重症化予防への貢献 ・蓄積されたデータの公益な活用による医療費適正化等への貢献 ■メディカル ・Joinを活用した遠隔医療・院内ネットワーク支援 ・Join Mobile Clinicを活用した医療過疎地、災害医療支援 ■健康経営 ・リテラシー向上、行動変容につながるセミナーやイベントの実施、情報発信 ・生産性を阻害する症状に対する診療補助	■ヘルスケア ①kencomサービス利用対象者数 ②取引自治体・保険者数 ③論文等の発表数 ■メディカル ①Join導入施設数 ■健康経営 ①主観的健康状態 ②生産性発揮割合	■ヘルスケア ①- ②- ③- ■メディカル ①- ■健康経営 ①75% ②80%	■ヘルスケア ①637万人 ②526保険者 ③30報以上 ■メディカル ①597施設 ■健康経営 ①82% ②72%	■ヘルスケア ①536万人 ②531保険者 ③71報 ■メディカル ①604施設 ■健康経営 ①81% ②72%

※1...横浜DeNAベイスターズ公式戦かつ横浜スタジアム開催分の観客動員数
※2...PHR：パーソナルヘルスレコードの略称

2025年度マテリアリティ・KPI・実績

マテリアリティ	主な取り組み	指標	2026年度までの目標	2024年度実績	2025年度実績
経営資本のマテリアリティ					
【人的資本】 多様性を活かす機会と挑戦の場の提供	・DeNAの可能性を広げる変化の起こせる人材の採用 ・成功確率が五分五分の高い目標と大胆な権限委譲で人材を育成 ・優れた人材に相応の報酬とさらなる挑戦の機会を提供	①採用クオリティ度※3 ②全体ストレッチ度※4 ③評価インパクト度※5	①100% ②95% ③80%	①新卒98% 中途96% ②68% ③69%	①新卒98% 中途 92% ②78% ③65%
【知的資本】 技術の強化・新技術への対応と牽引	・全社員のAIスキルを評価する独自枠組み(DARS: DeNA AI Readiness Score)の構築 ・社員各自が業務内容に応じて使用できるAIエージェントプラットフォーム(Gemini Advanced)の全社導入 ・AIエキスパート人材の在籍および部署を横断する組織戦略 ・DeNA AI Day の開催による技術力ビジネス活用を発信	①AIエージェントプラットフォーム利用率 ②全社員および組織のAIスキル評価	① - ② -	①Gemini Advanced MAU※6 1,000 ② -	①Gemini Advanced MAU※6 1,484 ②DARSレベル2以上 個人:76.1% 組織:100%
【社会関係資本】 パートナーシップによるシナジーの最大化	・外部パートナーとの提携 ・事業で関わる各企業との関係構築、情報交換	①AI関連 新規取引先社数	① -	① -	① -
経営基盤のマテリアリティ					
コーポレート・ガバナンスおよびコンプライアンスの強化	■コーポレート・ガバナンス ・取締役会の機能強化 ・経営陣の監督・報酬制度の透明性の確保 ■コンプライアンス ・コンプライアンス研修の実施 ・リスクマネジメントのグループ展開 ■気候変動 ・温室効果ガス削減 ・削減目標のSBT※8認定の取得	■コーポレート・ガバナンス ①独立社外取締役比率 ②取締役会構成メンバーの多様性比率 ■コンプライアンス ①コンプライアンス研修実施回数 ②会社単位でのリスクマネジメント導入率※7 ■気候変動 ①②温室効果ガス排出量	■コーポレート・ガバナンス ① - ② - ■コンプライアンス ①12回/年 ②100% ■気候変動 2033年度末まで ①スコープ1+2: 2,115t-CO2 (2023年度比58.8%削減) ②スコープ3: 67,282t-CO2 (2023年度比35.0%削減)	■コーポレート・ガバナンス ①42.9% (7名中3名) ②27.3% (11名中3名が女性) ■コンプライアンス ①12回/年 ②100% ■気候変動 ①スコープ1+2: 4,043t-CO2 ②スコープ3: 102,609t-CO2※9	■コーポレート・ガバナンス ①50.0% (6名中3名) ②30.0% (10名中3名が女性) ■コンプライアンス ①12回/年 ②100% ■気候変動 ①スコープ1+2: 3,465t-CO2 ②スコープ3: 113,136t-CO2
情報の適切な保護とセキュリティの向上	・セキュリティ・プライバシー研修の実施 ・提供サービスに対する脆弱性診断(アプリケーション診断NW診断)の実施	①全従業員向け研修実施回数 ②診断実施件数	①4回/年 ②アプリケーション診断: 150件/年 NW診断: 4,000IP/年	①4回/年 ②アプリケーション診断: 171件/年 NW診断: 4,264IP/年	①4回/年 ②アプリケーション診断: 189件/年 NW診断: 3,632IP/年

※3...入社1年後の評価においてパフォーマンスが期待を満たした、または上回った割合
※4...半期ごとに行っている組織状況アンケートにて挑戦的なストレッチな目標に取り組んでいると回答した割合
※5...従業員が高い成果パフォーマンスに対して大胆な処遇(報酬、昇進機会)があると感じる割合
※6...MAU: Monthly Active Users
※7...対象範囲は国内の主要子会社
※8...SBT (Science Based Targets) 科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出量削減目標
※9...算定対象の見直しにより2024年3月期のスコープ3 カテゴリ2 資本財から建設仮勘定を除いたためデータ修正